

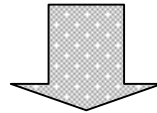
1. はじめに

地域の特色を生かしたまちづくりの需要増加

→ 地域間の交流が必要！

地域間交流を活性化するためには？

→ 地域を構成する人間同士の交流が重要。



人間力の向上が求められる！

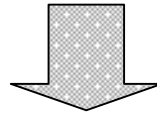
1. はじめに

地域の特色を生かしたまちづくりの需要増加

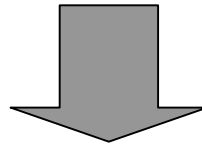
→ 地域間の交流が必要！

地域間交流を活性化するためには？

→ 地域を構成する人間同士の交流が重要。

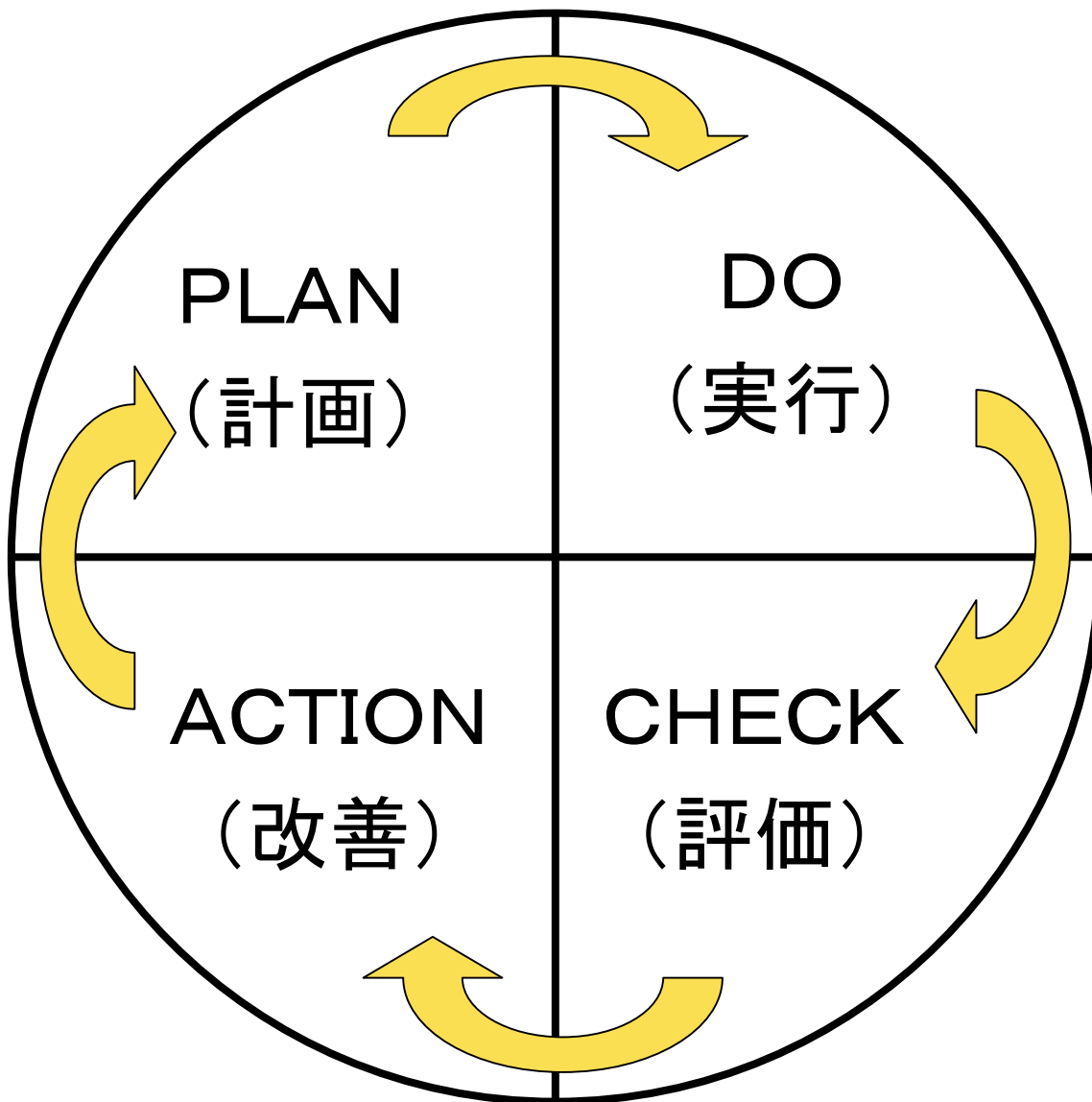


人間力の向上が求められる！

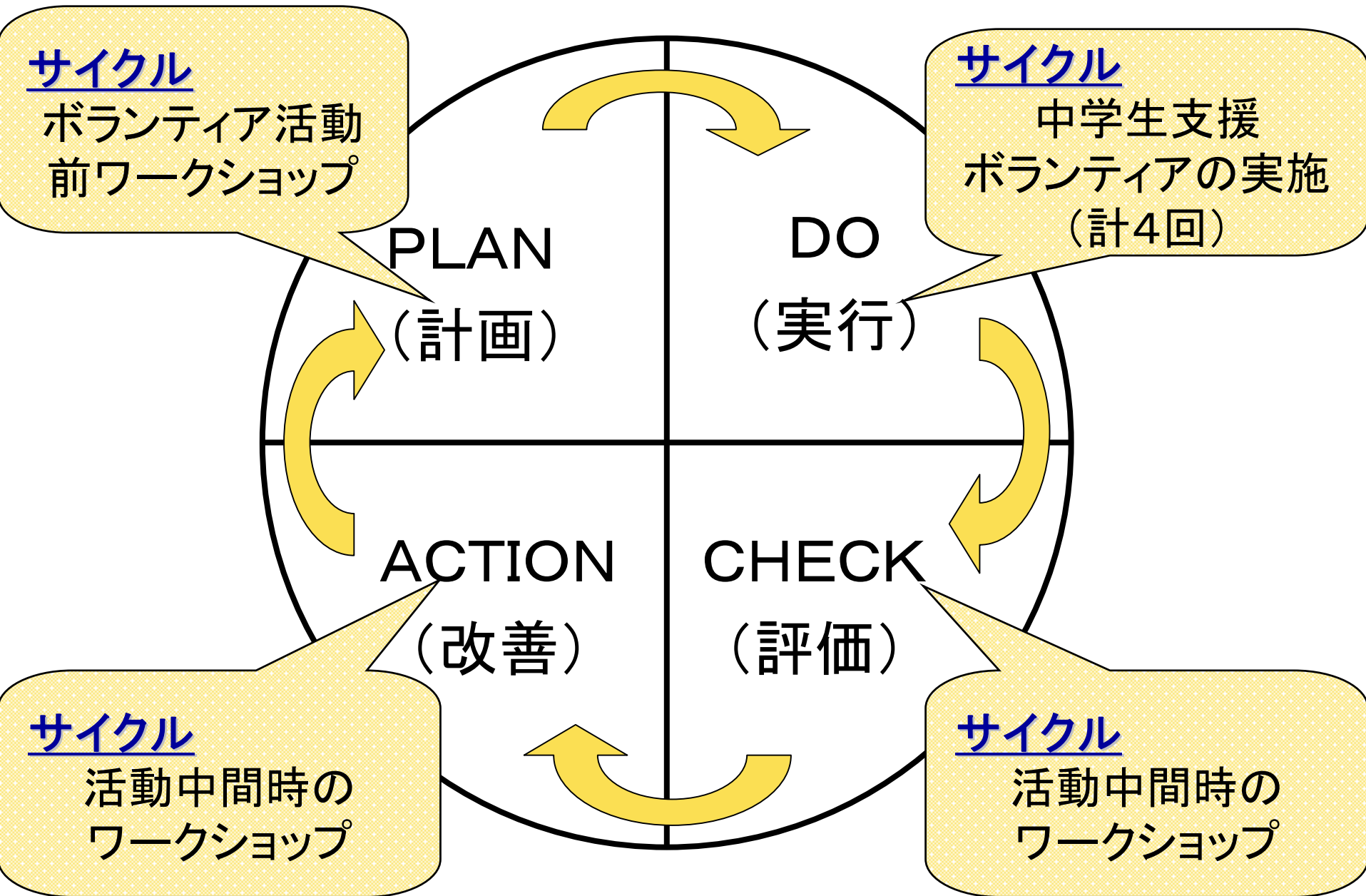


地域連携事業として学習支援活動を行い、
TAを行った支援学生の人間力向上をはかる。

2. システムについて(PDCAサイクル)



2. システムについて(PDCAサイクル)



今回の具体的な要素

- 今回の教育内容の特徴

1) **社会人としての基礎的素養**の享受

2) **論理的思考法**の享受

3) **地域連携手法**の享受

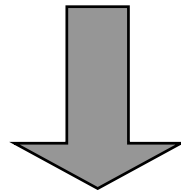
例 ・他者に対する観察力・対応力
・ヘルプとアシストの違い
・聞くこと(確認すること)の大切さ

今回の具体的な要素

● 今回の教育内容の特徴

- 1) 社会人としての基礎的素養の享受
- 2) 論理的思考法の享受
- 3) 地域連携手法の享受

例 ・他者に対する観察力・対応力
・ヘルプとアシストの違い
・聞くこと(確認すること)の大切さ



工夫力、プレゼンテーション能力、社交性の向上

セミナー詳細

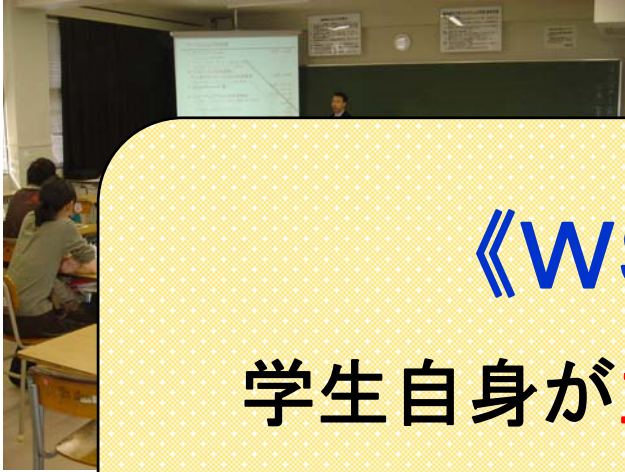
サイクル	内容	日時	参加人数			
PLAN	講義	11月11日(金)	39			
	講義、WS	11月12日(土)	17			
DO	中学校でのTA実施	11月15日(火)	12			
		11月22日(火)	15			
		11月29日(火)	16			
		12月13日(火)	13			
CHECK ACTION PLAN	講義、WS	12月17日(土)	12			
DO				中学校でのTA実施	12月26日(月)	14
					12月27日(火)	14
	1月6日(木)	14				
CHECK ACTION	講義、WS	2月4日(土)	18			
PLAN:計画 DO:実施 CHECK:確認 ACTION:改善			延べ人数	184		
			PDCA 全参加人	8		

セミナーの特徴

1. 理論と実践のサイクルを数回まわし、**身をもって理解**するしくみ
2. 学生がやり方を計画・実践する中で、**自らが「気づく」**しくみ
3. ワークショップ形式の**参加型授業**
4. 5つのステップの**論理的手法**の活用
5. ゲームを活用した**体験型授業**

3. ワークショップの様子 (PLAN・CHECK)

講義による説明



議論のまとめ



《WSの活用》

学生自身が**主体**となる場の提供



自ら考え、行動を行うことにより

主体的・積極的参加へ

グループ



3. ボランティア (TA) の実施 (DO・ACTION)



《TAの活用》

考えたことを実際に試す



改善点の発見・向上



4. 調査方法について

(1) 人間力アンケート

→ 今の自分の能力について

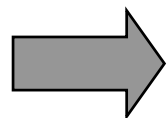
- 「人間力」=人間関係を円滑に行うために必要となる総合的な能力
- 17項目の能力として定義。
(例:リーダーシップ力、協調性など)

(2) EQ能力アンケート

→ 他者と上手く付き合うための能力について

→ 自分を正しく見つめる能力について

→ 「EQ」=「こころの知能指数」と呼ばれる概念



今回は(1)の結果のみを示す。

EQについて

- EQ = 「Emotional Quotient」
→ 「感情知能指数」と訳される。

- ・テストの点数
- ・偏差値
- ・専門的な知識

→ いわゆる「知能指数」
と呼ばれるもの

IQ



- ・人とうまく付き合う
- ・自分の感情を知る

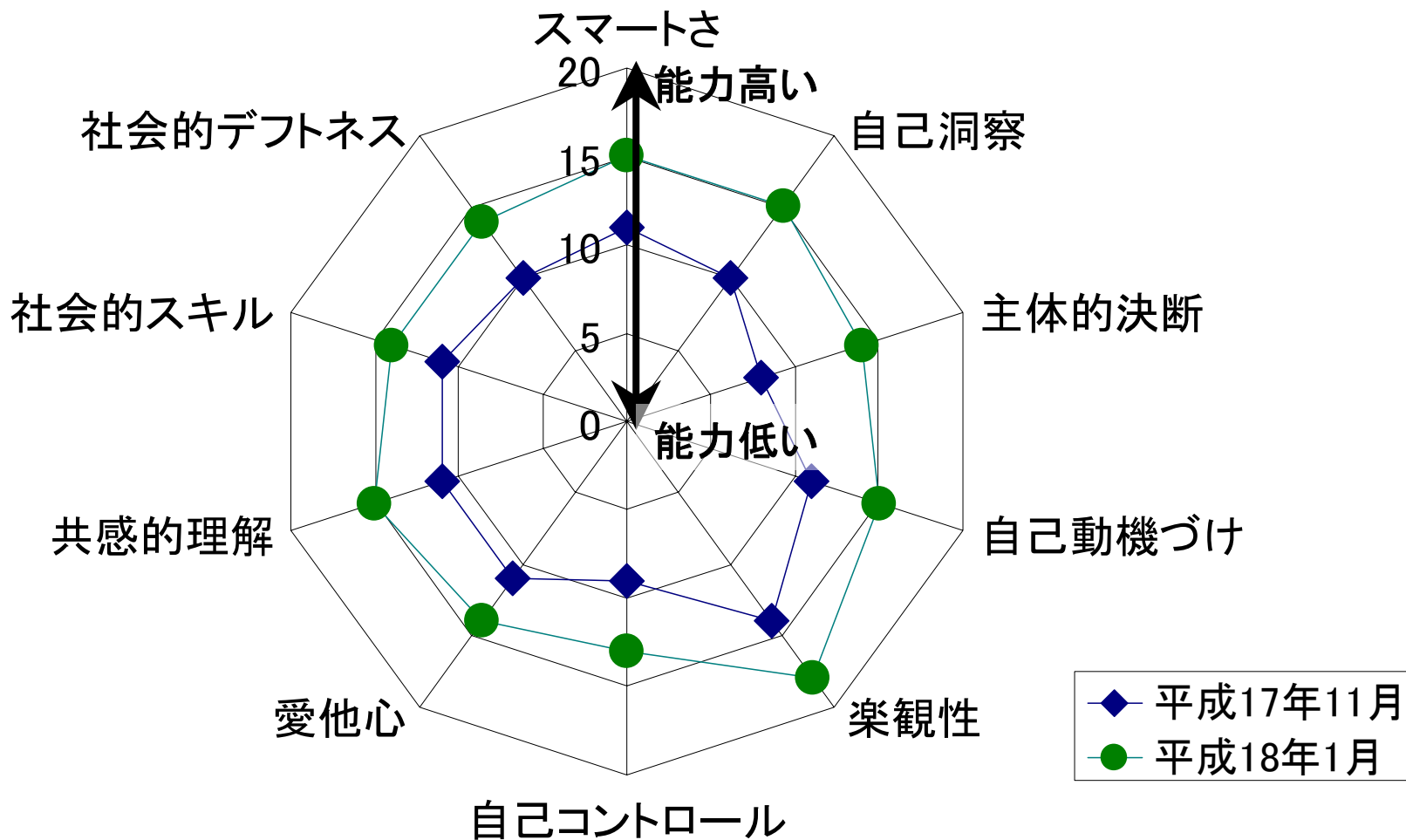
→ 感情、意欲などを
コントロールするための力

EQ

人間を構成する「知、情、意」 → 「情、意」をはかる概念

5. 結果

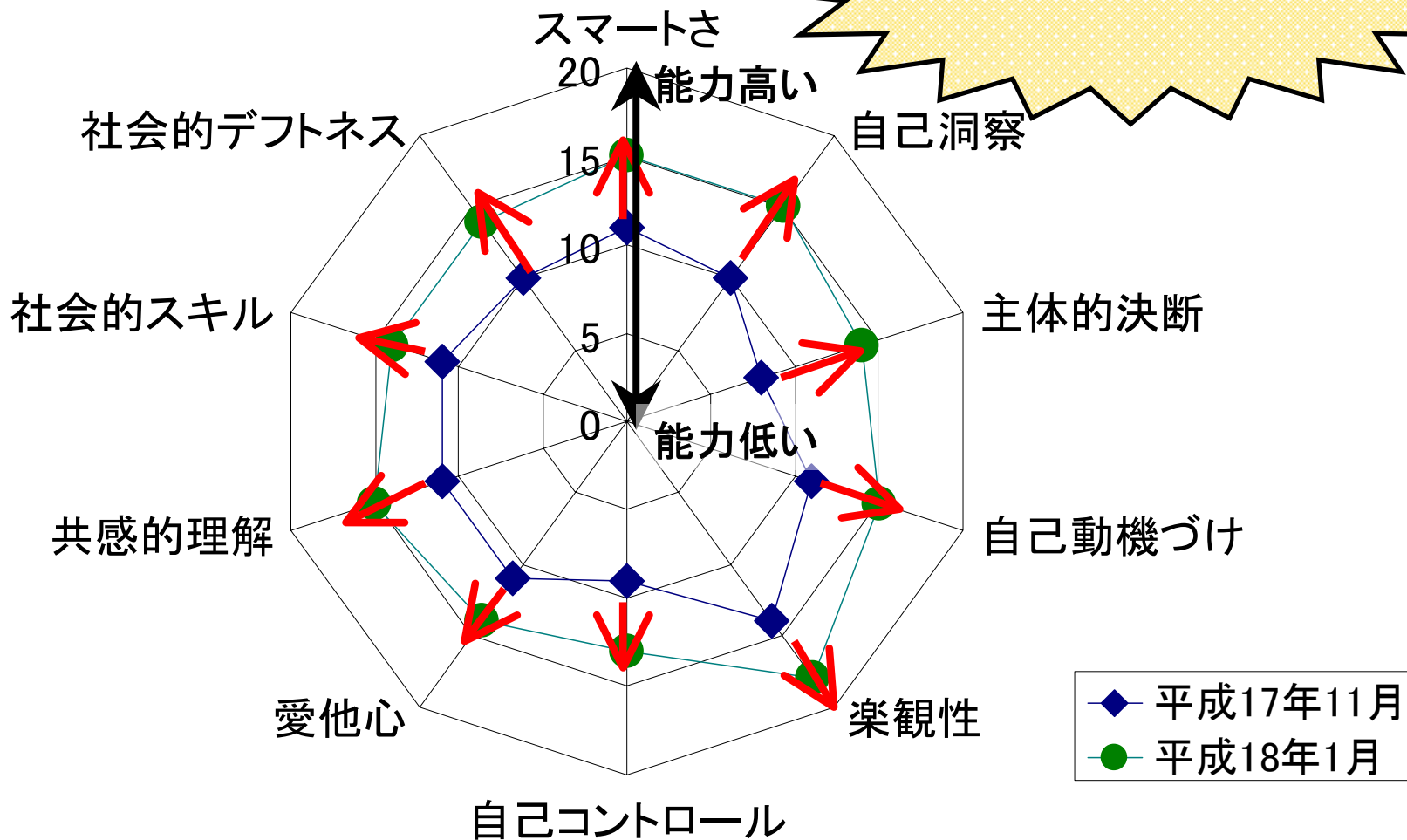
EQ能力アンケートの例



5. 結果

EQ能力アンケート

EQの成長!

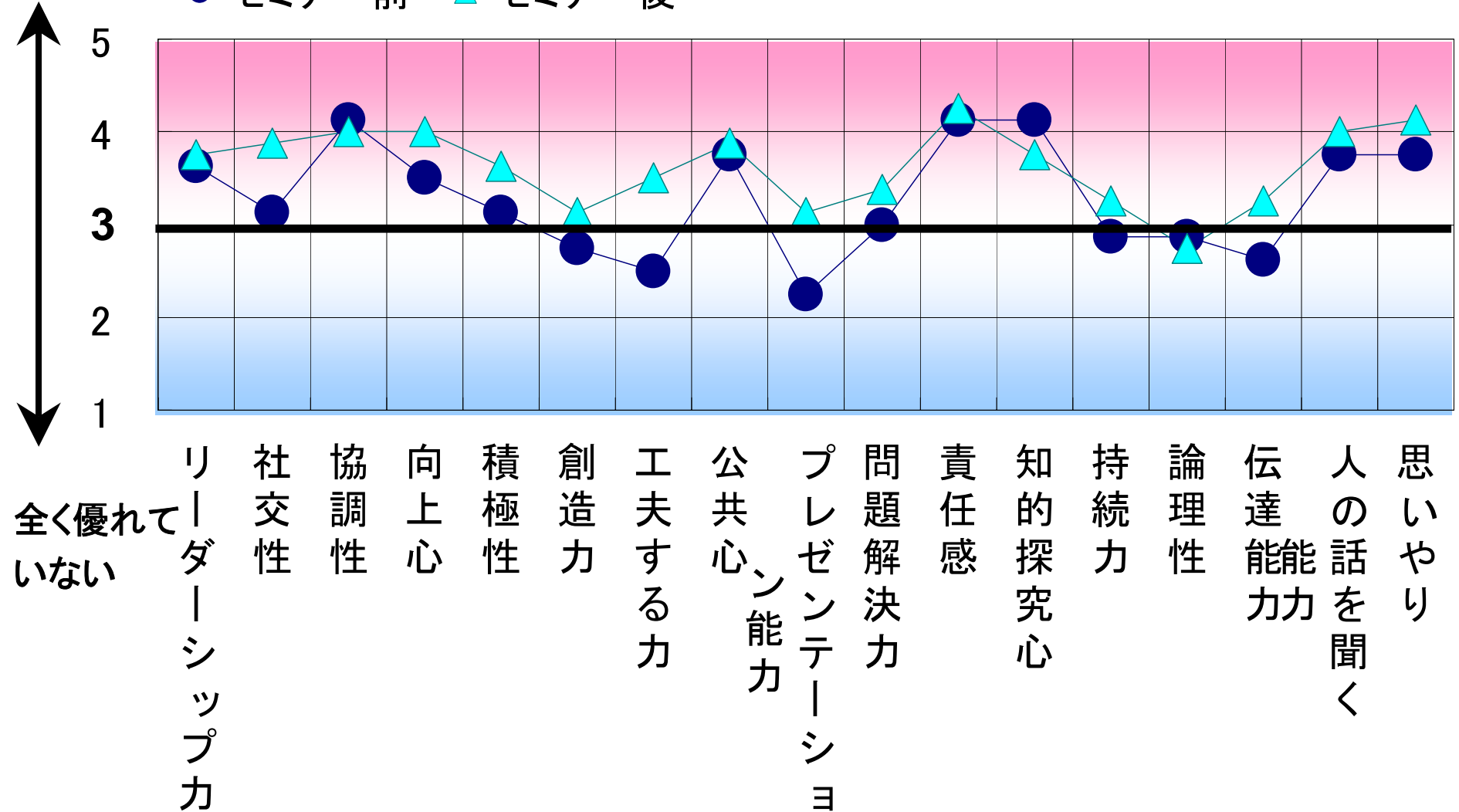


5. 結果

問: 自分の能力について

とても
優れている

● セミナー前 ▲ セミナー後



全く優れて
いない

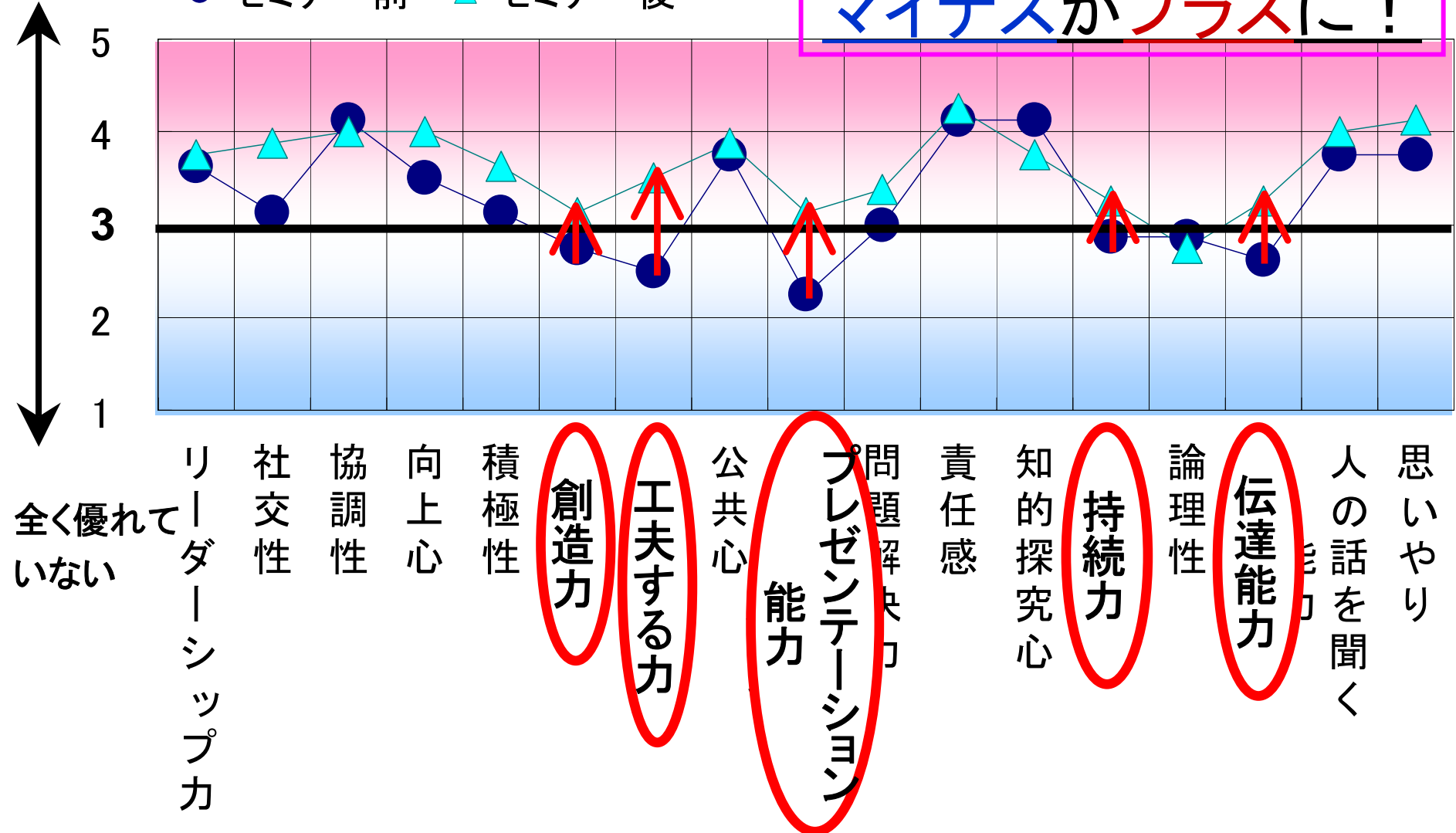
5. 結果

問：自分の能力について

とても
優れている

● セミナー前 ▲ セミナー後

マイナスがプラスに！



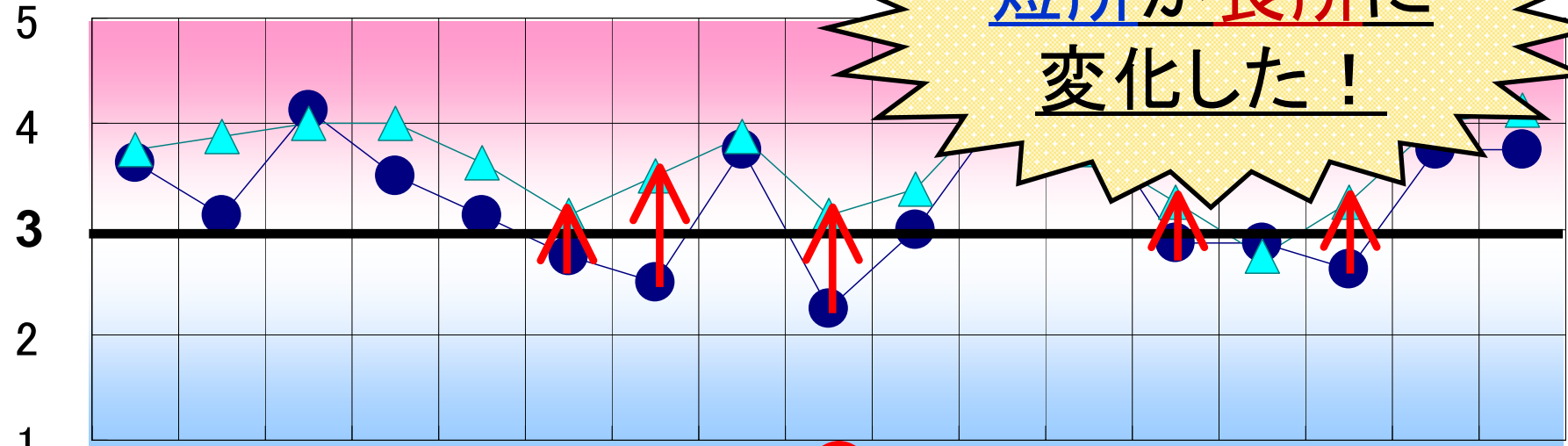
全く優れて
いない

5. 結果

問：自分の能力について

とても
優れている

● セミナー前 ▲ セミナー後

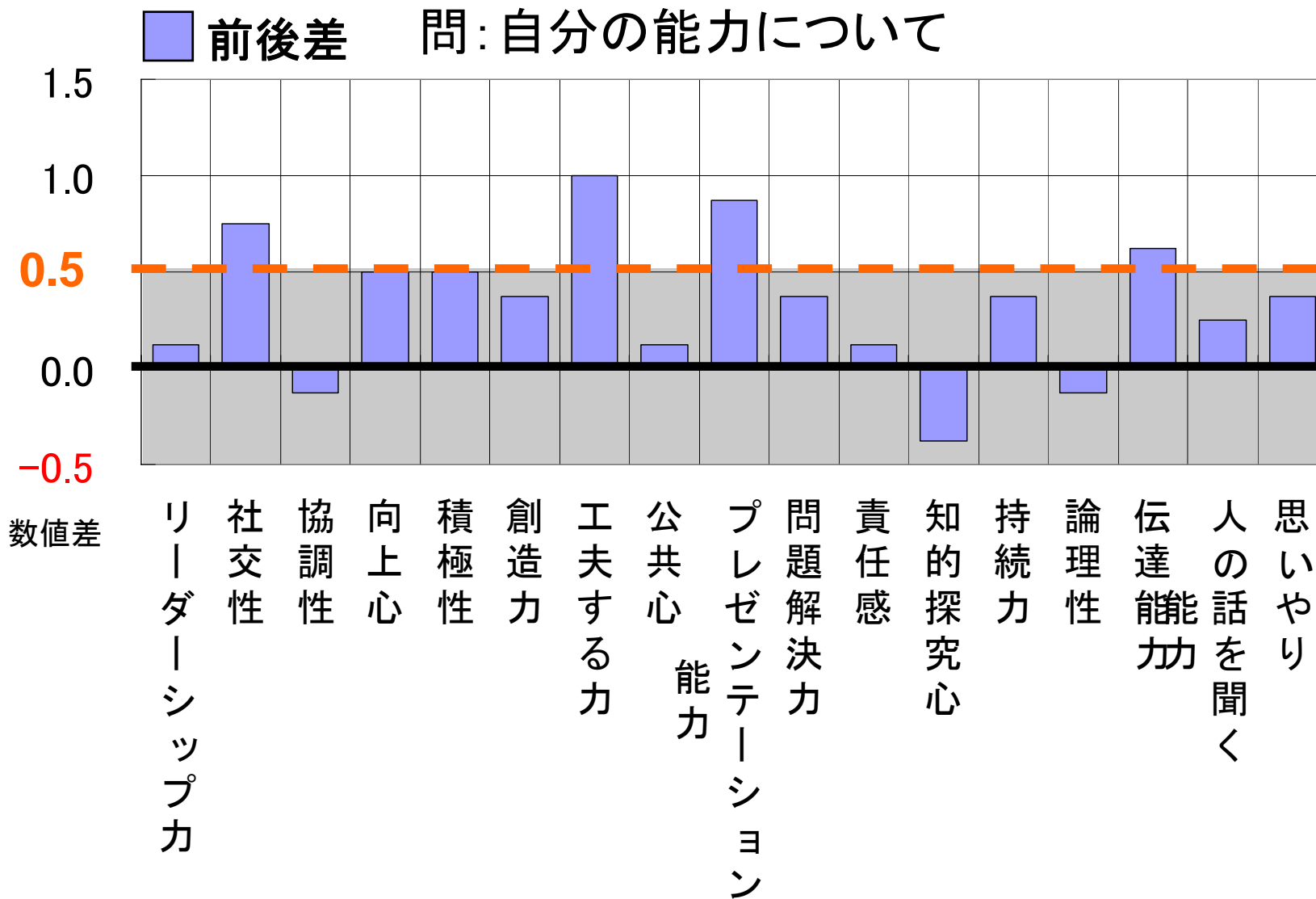


短所が長所に変化した!

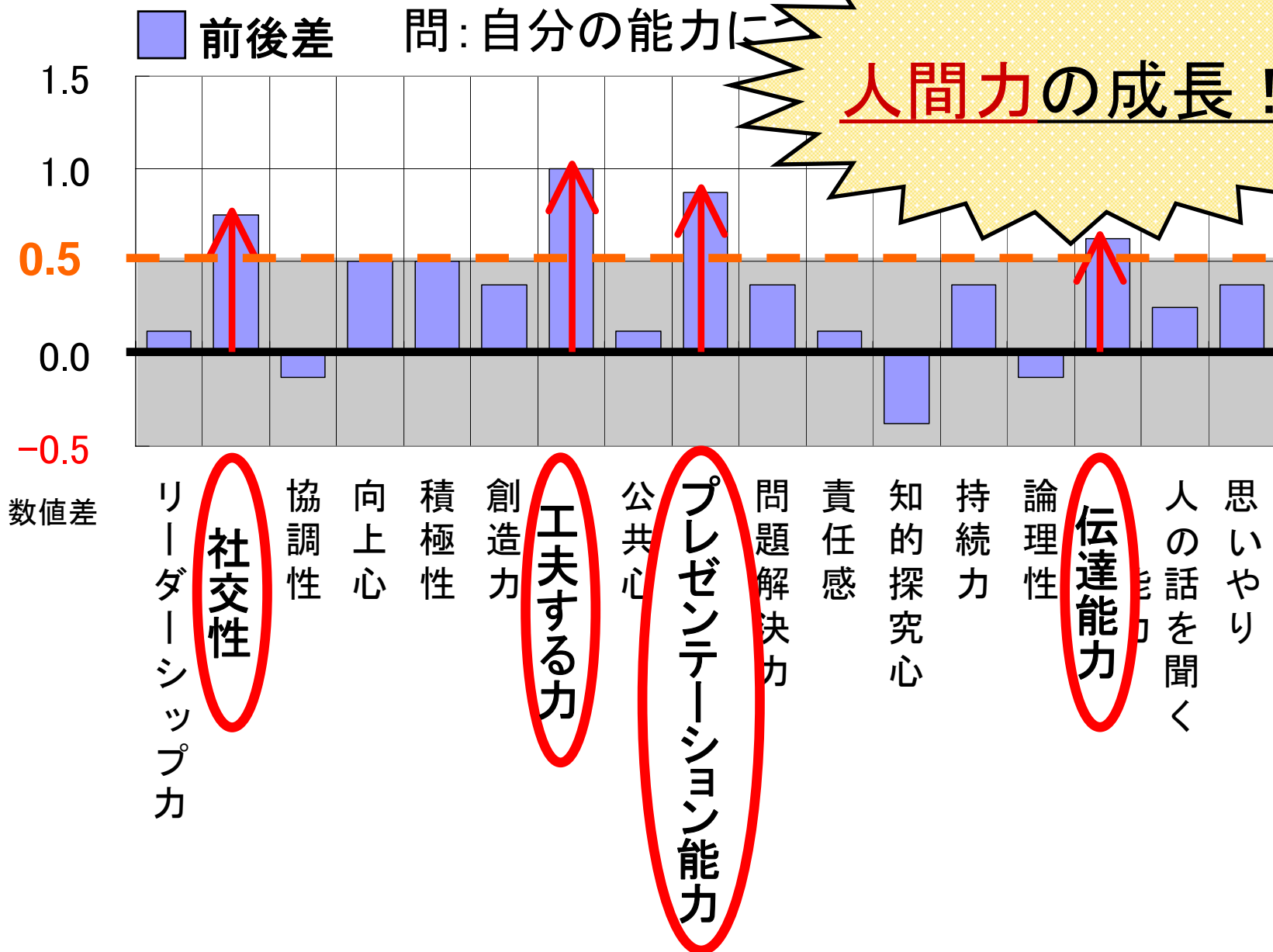
全く優れて
いない

リーダーシップ力
社交性
協調性
向上心
積極性
創造力
工夫する力
公共心
プレゼンテーション能力
問題解決力
責任感
知的探究心
持続力
論理性
伝達能力
人の話を聞く
思いやり

5. 結果



5. 結果



6. まとめ

- 1) 人間力の定義を行い、
定量的な人間力評価が可能になった。
- 2) 地域連携支援事業を活用する、PDCAを踏まえた
人間力支援プログラムを開発した。
- 3) プログラム実施の結果、
総じて人間力の向上が認められた。
(特に工夫力、プレゼンテーション能力、社交性)

地域連携支援事業(TAの実施)により、
人間力の向上をはかることができた!

7. 今後の課題

- 他地域連携支援事業でのプログラムの実施
(例: 部活動を通じた連携事業)
→プログラムの改善、向上
- 人間力とEQ能力との対応
- 人材育成がまちづくりや地域計画、合意形成に及ぼす効果についての検証

END